

# 短歌部

平成二八年度 四月五月例会

クラブ員作品

講師 あらたなる顔くははりてはじまりぬ窓べ明るき春の歌会うたくわい 兼貞康行

ふる梅雨あめも稲にはめぐみの雨なれど被災地肥後の大雨悲し 多田芳子

病みし友訪ねゆきたる古都の春花ながれるしあの日を思ふ 橋本多佳子

花びらが川面流れて花いかだ時間の流れ暦の流れ 廣田重宣

朝つゆをうけて咲きにし芍薬はうすべに色に楚々と佇む 濱崎千鶴子

戦絵のかたりべの声らうらうと若葉の山にひびき渡れり 石田洋子

八重桜そめる吉野の後を追ひピンクをまとふあで姿なり 若本明夫

九份の赤いひかりにさそはれて階段昇り土産を選ぶ 中野加代子

花は葉に朝日眩しき川堤水音耳にやさしき流れ 辻田巳代江

咲く藤の甘い香りに誘われて蜜吸う蜂にやさしき陽ざし 横田悦子

公園の紅鮮あかやかな筑紫紅集まり目立つ小さき花群ら 後藤憲秀



掲示日 7月5日

撤去日 9月8日

掲示責任者横田悦子

